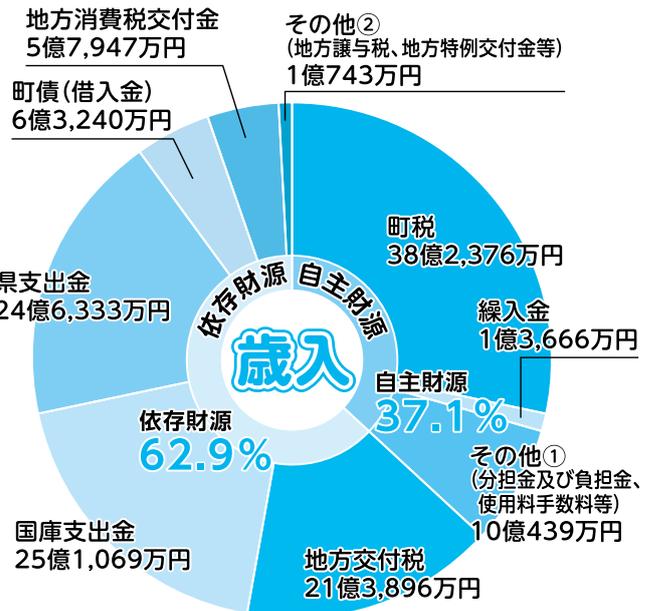
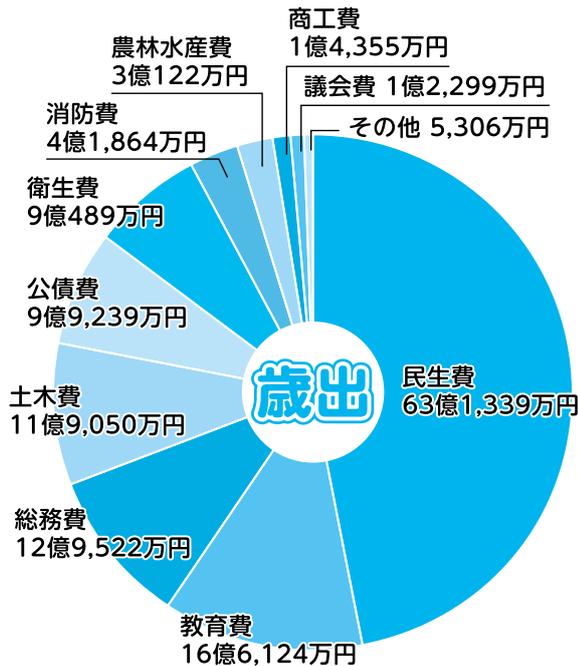


特別会計を含み総額 208億3千万円

増大する社会保障費

■ 一般会計 133億9,709万円 ■



■歳出：扶助費（住民福祉のための経費）は前年度より3億8914万円（10・2%）増えました。認可保育園の新設2園と既存3園の定員増により、認可保育園の運営費及び3歳児以上主食費等の増加が挙げられます。一括交付金事業は基本枠の減により、事業の見直しが行われ6事業が廃止となりました。

■歳入：自主財源は対前年度比4・1%減となりました。主な要因は、財政調整基金（貯金）4億3508万円を取り崩し繰り入れを行っていないこと挙げられます。依存財源は前年度比4・2%増となりました。県支出金において、一括交付金の基本枠は前年度比8200万円減となりましたが、特別枠に北丘小学校西側避難通路事業費として1億4050万円配分されました。

一般会計予算は、133億9709万円、28年度より1%増となりました。

扶助費3億8914万円増

用語の説明

歳出

民生費 お年寄りや児童福祉、保育所運営
 教育費 幼稚園・小中学校教育や生涯学習
 総務費 職員人事や役場全体の管理
 土木費 道路や河川、公園の整備
 公債費 借金（町債）の返済
 衛生費 ごみ処理や予防接種

歳入

町税 みなさまからの税金
 線入金 町の貯金を下ろして使う金額
 国・県支出金 使う目的が決まっている国や県からの補助金
 地方交付税 自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
 町債 町の借金